

令和6年度カーボンニュートラルの取組全体像について

オール福島での福島県2050年カーボンニュートラルの実現

福島県が目指す姿

東日本大震災からの復旧・復興を最優先事項としつつ、持続的発展が可能な美しい古里を創造し、将来に誇るべきものとして未来を担う世代に引き継ぐことができるよう、「福島県2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて、県民、事業者、行政等あらゆる主体と一体となって地球温暖化対策を強力に推進します。

福島県カーボンニュートラルの推進等に関する条例

ふくしまカーボンニュートラル実現会議

福島県カーボンニュートラル推進本部会議

横断的取組

- (緩和) 金融機関と連携したカーボンニュートラルの推進 (生環、商労)
- (緩和) J-クレジット創出 (企調、生環、商労、農林)
- (適応) 熱中症対策の推進 (危機、生環、保福)

1 県民総ぐるみの省エネルギー対策の徹底

産業・民生業務部門

- ・ふくしまゼロカーボン宣言事業 (生環)
- ・事業者向け省エネ設備導入支援 (商労)
- ・グリーンな栽培体系への転換支援、環境保全型農業への支援 (農林)
- ・道路、公園施設等の照明のLED化、カーボンニュートラルポートの形成 (土木) 等

運輸部門

- ・EVの導入支援、エコタイヤの導入支援、(生環)
- ・FCVの導入支援、新たな水素モビリティの実証運用支援、燃料電池パトカーのモデル的な導入 (企調) 等

民生家庭・廃棄物部門

- ・ふくしまならではのZEHの普及促進、デジタルを活用した脱炭素型ライフスタイルの推進、エシカル消費の推進、ごみ減量化 (生環)
- ・既存住宅の断熱改修 (土木) 等

県有施設の主な取組

- ・太陽光発電設備の導入 ・県合同庁舎等へのEV充電設備の整備 ・ZEB (新築、改修)
- ・LED照明の導入 ・交通信号灯器へのLED導入 ・公用車のEV導入 ・再エネ由来の電力調達
- ・ペロブスカイト太陽電池の先行的な導入 等

基本姿勢



2 再生可能エネルギーの最大限の活用

再エネの導入拡大・利用促進

- ・再エネの導入支援、共用送電線の整備支援、再エネ導入拡大に向けた調査 (太陽光、洋上風力) (企調)
- ・農畜系有機性資源の活用推進 (農林) 等

エネルギー・環境産業の育成・集積

- ・次世代自動車技術関連企業への支援
- ・再エネ関連産業の産学官連携・販路拡大促進 (商労) 等

3 持続的な吸収源対策の推進

森林整備等の推進による吸収源対策

- ・森林整備の推進、森林吸収クレジットの推進 (農林)
- ・県産材の利用促進 (土木) 等

4 気候変動への適応の推進

気候変動の影響予測・対応

- ・福島県気候変動適応センターの運営、調査 (生環)
- ・農作物の品種改良 (農林) 等